

駒沢大学駅前 地域循環プロジェクト“KOMAZAWA MOAI FARM”を期間限定で実施します！

～駒沢大学駅周辺事業者、地域住民参加型の循環型ファーム～

東急電鉄株式会社

当社は、脱炭素・循環型社会の貢献および地域に開かれた「サステナブルな地下駅」を目指し、田園都市線地下区間5駅のリニューアルプロジェクト「Green UNDER GROUND」の第1弾として、2021年7月より駒沢大学駅リニューアル工事を進めています。今般、当社は株式会社フードリボン、株式会社ドトールコーヒー（以下、ドトールコーヒー）、株式会社イマックス（以下、イマックス）と連携し、駒沢大学駅徒歩1分の場所で「駒沢大学駅前地域循環プロジェクト“KOMAZAWA MOAI FARM”」（以下、本プロジェクト）を2023年5月27日から9月30日（予定）の間、実施します。

本プロジェクトは、イマックスの建物建替事業に伴う更地約2,300㎡を暫定活用し、駒沢大学駅周辺の事業者、地域住民参加型の環境・循環をテーマにした農園を企画・運営するものです。プロジェクト名に含まれる「MOAI」は、沖縄地方における地域でのコミュニティ形成と相互扶助の在り方の方言（模合）が由来で、地域住民の方々、事業者が一体となってまちの魅力や価値を再発見するような、まちに開かれたコミュニティの場になることを目指します。

本プロジェクトでは、地域住民の方々が農園での苗植え体験や日常的な水やりなど野菜の栽培ができるほか、地域資源循環に関するワークショップに参加できます。また、本プロジェクトの活動に参加すると、フードリボンが提供するMOAIポイントが付与され、ポイントに応じて、在庫処分で廃棄されてしまうアパレルメーカーの洋服や小物、規定外の野菜などの商品と交換できます。

農園内では、ドトールコーヒー駒沢大学店で発生する抽出後のコーヒー粉（コーヒーグラウンズ）などをメタン発酵装置を通じてたい肥化し、農園の肥料として使用する取り組みや、コーヒー豆を運ぶ麻袋を使用したプランターとして植物を育てる取り組みなど、地域内での資源循環を推進します。加えて、農園の一部に貸しイベントスペースを設けることで、地域活動の拠点となることを目指します。

当社は、「Green UNDERGROUND」第1弾駒沢大学駅リニューアル工事と並行して本プロジェクトを行うことで、地域連携を推進し、地域に開かれた駅を目指すとともに、脱炭素社会の実現や誰もが参加しやすい資源循環型の取り組みを推進し、東急線沿線のサステナブルなまちづくりに取り組みます。

詳細は、別紙の通りです。

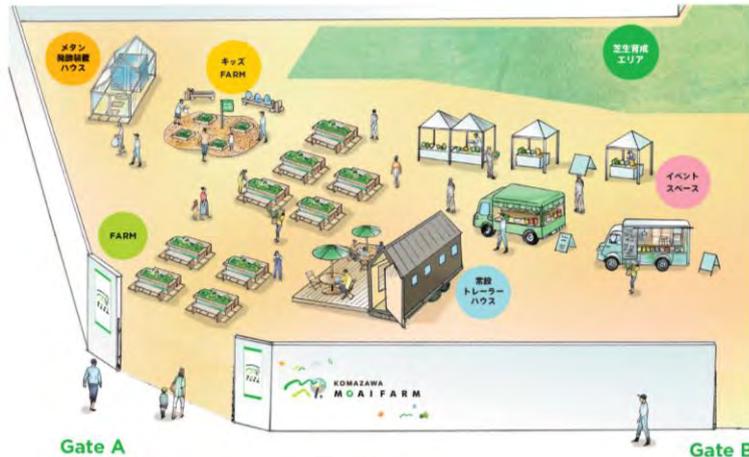


▲ KOMAZAWA MOAI FARMイメージ(左:本プロジェクトロゴ、右:農園全体イメージ)

【別紙】

■駒沢大学駅前 地域循環プロジェクト“KOMAZAWA MOAI FARM”の概要

- 実施期間: 2023年5月27日から2023年9月30日まで(予定)
- 主催: 東急電鉄株式会社、株式会社フードリボン、株式会社ドトールコーヒー、株式会社イマックス
- 運営: 東急電鉄株式会社、株式会社フードリボン
- 住所: 東京都世田谷区上馬3丁目852番地 田園都市線駒沢大学駅東口より徒歩1分
- 敷地面積: 2, 296㎡



▲農園全体イメージ



▲農園位置図

○取り組み概要

1. 野菜の栽培

農園内では、苗植え体験や日常的な水やりなど野菜の栽培ができます。

2. イベントスペース

地域事業者や地域住民の企画による活用なども予定しています。

3. トレーラーハウス(事務局)

野菜の栽培や各種ワークショップ、イベントなどの企画・運営を行うほか、ハウス内で連携各社の取り組みなどを紹介します。



▲野菜の栽培(イメージ)

○地域資源循環の取り組み

1. メタン発酵装置

世界で初めてリサイクルフッ素フィルムを採用したメタン発酵装置を用い、ドトールコーヒー駒沢大学店で発生する抽出後のコーヒー粉(コーヒーグラウンズ)などをメタン発酵装置により、たい肥化しファームの野菜栽培に活用する予定です。

2. コーヒー豆を運ぶ麻袋の活用

ドトールコーヒーで発生する麻袋を、植物を育てるプランターや芝生育成用の保護材として活用します。



▲メタン発酵装置ハウス(イメージ)



▲麻袋プランター(イメージ)

○MOAIポイントについて

農園内での活動に参加すると、フードリボンが提供するMOAIポイントが付与され、ポイントに応じて、在庫処分で廃棄されてしまうアパレルメーカーの洋服や小物、規定外の野菜などの商品と交換できます。

URL: <https://moai-action.com/moai-point-guide/>



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

○役割分担会社名	本プロジェクトでの役割
株式会社フードリボン	農園のクリエイティブディレクションと施設設営、地域資源循環の取り組み全般のディレクション、企画、運営などを行います。
株式会社ドトールコーヒー	コーヒーの麻袋や抽出後のコーヒー粉(コーヒーグラウンズ)などリサイクル資源の提供などを行います。
株式会社イマックス	更地期間中の所有地を暫定活用します。
東急電鉄株式会社	クリエイティブディレクション、企画、運営のサポートを行います。

<参考>

■田園都市線地下区間5駅リニューアルの概要

1. 田園都市線地下区間5駅概要

駒沢大学駅を含む田園都市線地下区間の5駅(池尻大橋駅・三軒茶屋駅・駒沢大学駅・桜新町駅・用賀駅)は、当社初の地下鉄である「新玉川線」として1977年に開業しました。新玉川線は、ステンレス車両や、各駅で異なるステーションカラーの導入、駅冷房などを考慮した駅づくりなど、当時としては先進的な地下鉄でした。



▲新玉川線開通式(1977年)



▲ステーションカラーの導入



▲田園都市線地下区間5駅リニューアル対象駅

2. 田園都市線地下区間5駅リニューアルコンセプト「Green UNDER GROUND」

田園都市線の路線カラーでもある「Green」には、「快適・安心」、「スムーズ」、「クリーン・サステナブル」、「親しみが生まれる」、「新しさがある」など、さまざまな想いが込められています。開業後40年以上が経過した田園都市線の地下区間5駅を、今まで以上に心地良く、ワクワクする体験のできる空間に生まれ変わらせます。

取り組みの詳細は、オフィシャルサイトを活用し、お知らせしています。

オフィシャルサイト：<https://ii.tokyu.co.jp/grows/gug>



▲オフィシャルサイトロゴ

■パートナー企業

・「株式会社フードリボン」(<https://food-reborn.co.jp/>)

捨てるものがない明日をスローガンに、地域にある未利用農産資源に新たな価値を見出し、生産者に還元できる素材に生まれ変わらせ消費後は自然に循環できる仕組みを作ることを目指して活動しています。



◀ バイナップルの葉やバナナの茎から繊維を抽出する自社開発の装置

・「株式会社ドトールコーヒー」(<https://www.doutor.co.jp/>)

地域社会との調和や連携に努め、地域社会の一員、また良き企業市民として積極的に社会貢献活動に取り組むとともに、廃棄物の分別の徹底、減量リサイクルを推進します。

昨年8月、(仮称)駒沢大学駅東口ビルに、ドトールコーヒーショップをオープンしました。駅のコンセプトに合わせた公園をテーマとした店舗づくりや各種環境に配慮した取り組みを持続的に行っています。



▲ドトールコーヒーショップ駒沢大学駅前店(東口)

・「株式会社イマックス」(<https://e-imax.com/>)

1914年創業。馬車製造から始まり、自動車車体製造、家具製造など時代の変遷にあわせて業態変化を遂げ、現在は所有不動産を活用した不動産賃貸業を営んでいます。

田園都市線の駒沢大学駅に隣接した土地において、建替え計画「駒沢こもれびプロジェクト」が進行中です。現在2棟の建物の解体を終え、新たな商業ビル竣工は2025年春に予定されており駒沢エリアの新しいランドマークとして期待されています。



▲イマックス第1ビル(現在、解体が完了し更地)

以 上